発表タイトルXXXX (中央揃え、MS Pゴシック、ヒラギノゴシックなど)

Title in English XXXXXX

グループ名（部活名など。必要なければ削除）：発表者名1,\*，共同発表者名2，共同発表者名1

1) 創価大学XX学部XX学科, 2) 創価大学YY研究所

１．序論

なぜこの研究が重要なのかの社会的・学術的な背景や、研究の新規性を述べる。どのような着眼点で、どのような課題を解決するためにこの研究を実施したのか。目的が明確にわかるように、文献を引用するなどして説明する。

２．材料と方法

結果を理解するのに必要十分な方法を述べること。不必要に詳細な情報は省くこと。

３．結果と考察

可能な限り１～２個程度の図表を入れて、簡潔にわかりやすくこれまで得られた結果と、そこから示唆される考察を記載する。序論で説明した課題がいかに解決されたかなど、研究目的とのつながりを明確に議論する。

４．結論

重要な結果と考察を簡単にまとめるとともに、目的とのつながりを述べて全体をまとめる。

参考文献

記載例：

[1] Walker et al., (2011) Chem. Eng. J., 178:138–145.

[2] De-Bashan and Bashan, (2004) Water Res., 38(19):4222–4246.

[3] Markou et al., (2014) Bioresour. Technol., 155:373–378.